

番号	意見	対応	対応コメント
1	現在、市内にある120の小中学校は、 <u>それぞれの学校がある地域の防災拠点として、非常に大きな役割を果たしている。</u> 少子化や施設老朽化による統廃合は、方向性としてはやむを得ないとは考えられるが、仮に学校がなくなる地域があれば、地域の方々と十分な協議を重ねたうえで、代替となる防災拠点・機能を確保するように強くお願いしたい。	反映する	学校は地域における防災拠点の機能もあることから、頂いたご意見を踏まえて、5（3）取組方策（p18）を追記修正させていただきます。 廃校後の防災拠点については、地域の思いをくみ取りながら丁寧に検討していきます。
2	アセットマネジメント的な考え方を先行して学校の統廃合を進めるべきでは無い。子ども達の教育環境の充実、 <u>大規模校に馴染めない子ども達のケア</u> 、大規模校化した学校への子ども達の登下校による交通インフラの損害、影響も考慮すべき。	反映する	頂いたご意見をもとに、●開校にあたり検討すべき項目例（p19）に「心のケア」を追記修正いたしました。
3	統合により新築・増築される一貫校・併設校は、最小規模にとどめず、現状や将来を見据えた施設、環境をつくっていきたいです。 山間部でない小中併設校は、講堂規模のスペースが2か所必要です。また、日常の着替でもスペースが必要なように、個の多様化の尊重に対応したり、特別支援教育を推進できたりようなスペース、防災拠点としてはもちろんのこと、コミュニティスクールや地域、社会教育を推進できるスペースも必要かと考えます。さらには、コンピューター室などICT環境の整備は、教員の研修・資質を向上させるとともに、職員室等のレイアウト等、魅力ある職場づくりは、教員の働き方改革、質の高い教員確保にもつながる可能性があります。 「とりあえず最小限でまとめた」のではなく、「1+1で3以上になった」ような、誇れる <u>静岡市型の魅力ある教育環境の整備</u> をつくっていきたいです。	反映する	魅力ある教育環境を整備するにあたり、いただいたご意見を踏まえて、●開校にあたり検討すべき項目例（p19）に「防災拠点としての機能」「地域のコミュニティの核としての機能」について追記修正させていただきました。
4	1. 児童生徒数の減少に対応すべく、各学区・地域の実情を踏まえて、統合を進めるべきだと思います。ただ、その際には、地域住民や保護者との十分な協議、理解が必要です。 2. 少子高齢化による住民税の先行きを思うとき、限られた財源および学校・公共施設を有効利用・活用することが肝心だと思います。 3. 老朽化・劣化の学校施設の建て替えは優先されるべきですが、その際、統合計画も同時進行で考え、合理的で効率的な建築計画の実行がされる必要があると思います。 4. これからの学校施設は、単に児童生徒のためだけでなく、地域の人々の共同利用、公共施設の有効利用・活用がされる運用を望みます。 <u>跡地の利用についても当該地域の意見・要望を十分に尊重し、地域の活動が活性化される方向で検討されるべきだ</u> と思います。 以上	反映する	学校は「地域コミュニティの核としての性格」を有しており、地域における防災拠点の機能もあることから、頂いたご意見を踏まえて、5（3）取組方策（p18）に「防災拠点」「地域の思いをくみ取りながら丁寧に検討」と追記修正させていただきます。
5	<u>学校の機能として、避難場所としての役割を持つ側面</u> もある。昨年の台風による被害を考えると、現在の学校の場所は地区の中で、安全性に欠けているものもある（河川の近くにある・土砂災害のリスク）。 <u>統合の際には、防災の観点も大事にして頂きたい。</u> また、自転車での通学が困難である小学生については通学の負担を軽減するための方法はなにかあるのでしょうか。	反映する	学校は防災拠点としての機能を持つことから、いただいた意見を踏まえて、5（3）①取組方策(p.18)や、●開校にあたり検討すべき項目例（p19）に追記修正させていただきました。 また、統合等で生じる通学支援については、地域の実情を考慮しながら必要に応じてスクールバス等の整備や遠距離通学に伴う補助を検討するなど、子どもの安全確保とともに保護者負担の軽減をしていきます。
6	適正規模・適正配置のメリットが、地域保護者教職員に実感できる物的・人的環境整備が需要（校舎新築、教職員の配置、学習の充実、遊具の充実、防災拠点としての環境整備など）	反映する	魅力ある教育環境を整備するため、いただいたご意見を踏まえて、●開校にあたり検討すべき項目例（p19）に「防災拠点としての機能」「学習の充実」など追記修正させていただきました。
7	ここまでの検討会やこの方針案の作成に感謝いたします。ですが、このパブコメも活かし、市として現実に行動することが大事で、回答した市民は期待しているところです。是非期限等を明示して必ず取り組んでください。 <以下、修正事項について抜粋> ①「1.はじめに（p1）」と「3.（1）①児童生徒の推移（p4）」の文面がに通っていて重複しているので、P4を少し変えた方がよいのでは。	反映する	頂いたご意見を踏まえて、p4の書きぶりを微修正させていただきました。
8	②「2.これまでの取組等」で「小布杉分校の休校」や「特別支援学級の急速な増設状況」などに触れないのか。	反映する	頂いたご意見を踏まえて、1はじめに（p1）や2.これまでの取組（p2）にて追記修正させていただきました。
9	③「3.（3）保護者・地域のアンケート」のタイトルに合わせて文中の「地域・保護者」は入れ替えてはどうか。	反映する	頂いたご意見のとおり修正させていただきました。
10	④字句修正について 「4.（1）一定の学校規模の確保」⇒修正前：～を身につけることが求められています⇒修正後：～を身に付けさせることや、一定の集団の中でのコミュニケーション能力が求められています 「4.（2）学校施設の老朽化対策の推進」⇒修正前：施設寿命の延命を伸ばしたり⇒修正後：延命したり	反映する	頂いたご意見のとおり修正させていただきました。
11	⑤「5.（2）取り組む対象となる学校（優先度の考え方）（p15）」⇒…そして地域・保護者等の【要望や】合意状況を～※【】内挿入	反映する	頂いたご意見のとおり修正させていただきました。

12	子どもたちにとってどのような環境がもっとも適しているかの観点に立ち様々な検討を行っていただければ全てのステークホルダーに理解は得られると考えます。 どうかよろしくをお願いします。	反映済み（同じ意見）	子どもたちにとって望ましい教育環境について、今後も地域や保護者の方々にご意見をいただきながら引き続き検討を進めていきます。
13	学校は教育の場でもあり、地域の防災を担う拠点でもあるため、適切な施設管理がなされる必要があります。そのためには統合を含めた適切な規模、配置を計画される必要があります。人口減少局面にあり、未婚率も高まっているため、ますます少子化が進む蓋然性が高いため、統合の合理性は高まっていると思います。その中で、どのように人的・金銭的資源を割いていくかが重要になるかと思えます。教育の質・地域の合意を確保しながら、適切な施設管理を行っていくことが一つのミッションかなと思えます。	反映済み（同じ意見）	今回の改定方針の「取り組む対象となる学校の優先度」に基づき、学校規模や施設状況に加えて、地域・保護者の合意状況を踏まえて、教育委員会として計画的に進めてまいります。
14	子ども達の安心安全で最適な学びとは何か、私達保護者も一緒に考えていけることは大変有難いことです。 それには人員確保や予算も考えていかなければなりません。今後更に減少が見込まれますが、これからの親が「学ばせたい静岡市の教育環境」となる様、皆で考えて行けたらと思います。	反映済み（同じ意見）	子どもたちにとって望ましい教育環境について、今後も地域や保護者の方々にご意見をいただきながら引き続き検討を進めていきます。
15	児童生徒の教育環境の整備のためには、地域住民や保護者の意見を伺いながら適正規模・適正配置を推進していく必要があると感じています。また、平成28年の方針策定時から教育現場を取り巻く環境も変化しているため、現状を踏まえた上での今回の方針改定は、今後の施策展開において非常に有意義だと思えました。	反映済み（同じ意見）	ご意見ありがとうございます。 子どもたちにとって望ましい教育環境について、今後も地域や保護者の方々にご意見をいただきながら引き続き検討を進めていきます。
16	市の適正配置基準が出ているが、どこか統合するのか、市が情報を知らせてほしい 街中で、少子化が起きている その様な所より、統合を進めるべき	反映済み（同じ意見）	ご意見ありがとうございます。 今回改定する「適正規模・適正配置方針」につきましては、基本的な考え方であったり、「取り組む対象となる学校の優先度」として、3つの観点を踏まえて優先度を示しております。山間地域だけでなく市街地においても、この優先度に沿って教育委員会としても計画的に進めていきたいと考えております。 また、適正規模・適正配置のこれまでの取組や現在の学校統合状況などは、現在も市HPにも掲載しておりますので、引き続き広く周知をしていきます。
17	現在山間地の小規模校に勤務しています。人数は年々減少しており、1人だけのクラスもあります。授業で意見が広がらなかつたり、初対面の人の前で堂々と話をすることができなかつたりと、学習する上で少人数のデメリットも感じています。オンライン化が進み、各校で共同しながら授業ができれば、小規模校でも学びを深めることができるようになるのではないかと模索しているところです。 保護者が統廃合について意見交換をする機会が数回ありましたが、賛成?反対で意見が二分しており、いまだに結論が出ていません。統廃合については教員の意見よりも、保護者や地域住民から理解が得られるかということが1番大きいのではないかと感じています。地域に学校を残したいという思いもあるようです。統廃合を進める上では、地域に任せると思うように進まないこともあるので、行政に入っていただきながら双方が納得できる形で進めていけるとよいと思います。	反映済み（同じ意見）	いただいたご意見のとおり、小規模校については少人数ならではのメリットがある一方、子どもたち同士が切磋琢磨できる集団規模としてのデメリットも大きいと考えております。 子どもたちにとって望ましい教育環境について、今後も地域や保護者の方々にご意見をいただきながら、計画的に適正規模・適正配置に取り組んでまいります。
18	小さい学校には、子どもたちにとっての良さがあると思う。ただ地域や保護者の要望が1番だと思う。	反映済み（同じ意見）	子どもたちにとって望ましい教育環境について、今後も地域や保護者の方々にご意見をいただきながら、計画的に適正規模・適正配置に取り組んでまいります。
19	・静岡市は中山間地が広いので、少子高齢化時代において学校配置は難しい問題だと思います。老朽化施設への対応も含め、統合や廃校等、計画に記載されているような対応は必要かと思えます。 ・学校生活は社会生活の勉強でもあると思うので、極端に生徒数が少ない学校が存在するのであれば、統合等により一定規模の生徒数を確保するのがよいのではと思います。 ・教育施設の維持コストの観点からも、統合等で適正な学校数にしていくことは重要かと思えます。 ・生徒数確保及び老朽化対策を、統合等で両立して進められるのであれば素晴らしいことではないかと思えます。 ・資料がすっきりしており見易いです。	反映済み（同じ意見）	ご意見ありがとうございます。 子どもたちにとって望ましい教育環境について、今後も地域や保護者の方々にご意見をいただきながら、計画的に適正規模・適正配置に取り組んでまいります。
20	子どもたちには、一定規模で集団生活をするなかで、生きていくために必要な社会性を身に付けてほしいです。 子どもたちの教育環境がますます向上するよう期待しています。	反映済み（同じ意見）	ご意見ありがとうございます。 子どもたちにとって望ましい教育環境について、今後も地域や保護者の方々にご意見をいただきながら、計画的に適正規模・適正配置に取り組んでまいります。
21	こどもたちがよりよい環境で学ぶためにも、適正規模・適正配置を進めてくことが必要だと思えました。	反映済み（同じ意見）	ご意見ありがとうございます。 子どもたちにとって望ましい教育環境について、今後も地域や保護者の方々にご意見をいただきながら、計画的に適正規模・適正配置に取り組んでまいります。
22	その学校の伝統や地域とのつながりも大切ではあるが、子どもの数が減少している中で子ども達がよりよい環境で学ぶためには、統合等を検討することもやむを得ないのではと思えました。また安全な環境で学べることも子どもたちにとって重要なことだと思うので、引き続き老朽化対策も進めていただけたらと思えました。	反映済み（同じ意見）	ご意見ありがとうございます。 子どもたちにとって望ましい教育環境について、今後も地域や保護者の方々にご意見をいただきながら、計画的に適正規模・適正配置に取り組んでまいります。

23	小学校区は自治会単位と強く結びついているので、自治会との連携は必須だが、自治会を気にしすぎるのも本末転倒かと思ます。子どもたちのために、前例にとらわれず、学区再編も並行しながら進めてほしいです。	反映済み（同じ意見）	子どもたちにとって望ましい教育環境について、今後も地域や保護者の方々にご意見をいただきながら、通学区域の見直しについては、通学区域審議会での議論を踏まえ、教育委員会としても引き続き検討を進めていきます。
24	学校教育のみならず、地域の防災拠点などとして公共性の高い学校施設。しかし、市内の120を超える学校施設（プール含む）のほとんどが老朽化しています。今から順次建て替えを行わないと、将来的に大変な状況になると思います。適正規模を含めた、これからの社会での学校のあり方を踏まえた上で、ぜひ計画的に進めていただきたいと思ます。	反映済み（同じ意見）	貴重なご意見ありがとうございます。子どもたちにとって望ましい教育環境について、今後も地域や保護者の方々にご意見をいただきながら引き続き検討を進めていきます。
25	少子化が進んでいる以上、早期の対策が必要となる。子どもたちの未来を保証していくためにも教育環境を整備していくためにも適正な規模で安心安全な教育活動が進んでいくことに期待したい。	反映済み（同じ意見）	子どもたちにとって望ましい教育環境について、今後も地域や保護者の方々にご意見をいただきながら引き続き検討を進めていきます。
26	それぞれに良し悪しがあるので、どの方法が適正なのかは分かりかねますが、親元を離れないで通学出来るようにだけはしてほしいし、遠方になることがあるのなら通学バス等の援助が必要かと思ます。	反映済み（同じ意見）	「子どもたち同士が切磋琢磨できる一定の学校規模の確保」を最優先とする方針のもと、子どもたちにとってより良い教育環境を第一に考え、統合等で生じる通学支援については、地域の実情を考慮しながら、必要に応じてスクールバス等の整備や遠距離通学に伴う補助を検討するなど、子どもの安全確保とともに保護者負担の軽減をしていきます。
27	地域社会や世界で活躍する子を育てるため、地元の地域住民や保護者、先生方、学識経験者等、幅広い立場の方々と、どこを目指すか検討する場を今後も大切にしてほしい。	反映済み（同じ意見）	子どもたちにとって望ましい教育環境について、今後も地域や保護者の方々にご意見をいただきながら、引き続き検討を進めていきます。
28	村や町は小学校を基盤として、活性化してきた歴史があると感じている。また、小学校には地域や自治会との深いつながりがあり、自治会の単位が崩れることが考えられる。地域とともにある学校の存在意義を見つめ、自治会との関係性も十分に考慮してほしい。便宜性や採算性などが優先されすぎることがないように議論を尽くしたい。	反映済み（同じ意見）	子どもたちにとって望ましい教育環境について、今後も地域や保護者の方々にご意見をいただきながら、引き続き検討を進めていきます。
29	社会情勢の変化に伴い、様々なモノ・コトが変革を迎えつつある中、教育も例外ではないと考えます。子どものことを第一に、改めて教育のあり方について考えると、学校の統合は必要です。子どもたちや保護者、地域にとって魅力ある教育環境を実現するための方針となることを期待します。	反映済み（同じ意見）	子どもたちにとって望ましい教育環境について、今後も地域や保護者の方々にご意見をいただきながら、引き続き検討を進めていきます。
30	子どもの数が減っているので仕方がないと思ます。	反映済み（同じ意見）	子どもたちにとって望ましい教育環境について、今後も地域や保護者の方々にご意見をいただきながら、引き続き検討を進めていきます。
31	統合を検討する際に、スクールバスを利用するなども含めて、子どもたちの通学路の安全の確保をしていただきたい。	反映済み（同じ意見）	貴重なご意見ありがとうございます。統合等で生じる通学支援については、地域の実情を考慮しながら、必要に応じてスクールバス等の整備や遠距離通学に伴う補助を検討するなど、子どもの安全確保とともに保護者負担の軽減をしていきます。
32	子どもの育成を第一に考えるべきです。少子化のスピードを考えると、地域での合意形成を待っては、多くの子どもが不利益を被ります。市が主導的に統廃合を進めるべきです。	反映済み（同じ意見）	子どもたちにとって望ましい教育環境について、今後も地域や保護者の方々にご意見をいただきながら、引き続き検討を進めていきます。
33	児童・生徒数だけで判断するのではなく、その地域の現況、子供の特性・特長など十分に把握して身長に進めてもらいたい。	反映済み（同じ意見）	子どもたちにとって望ましい教育環境について、今後も地域や保護者の方々にご意見をいただきながら、引き続き検討を進めていきます。
34	残念ながら、令和10年での推計で36,540人と減少の中で、規模。配置については、大胆かつ慎重に検討願いたい。	反映済み（同じ意見）	子どもたちにとって望ましい教育環境について、今後も地域や保護者の方々にご意見をいただきながら、引き続き検討を進めていきます。
35	地域住民や保護者と統合等に関して検討する場に立ち会ったことはないが、地域住民と子どもを通わせる保護者との想いに違いがないか、子どもファーストお教育環境という視点での検討を共通理解すべき。	反映済み（同じ意見）	子どもたちにとって望ましい教育環境について、今後も地域や保護者の方々にご意見をいただきながら、引き続き検討を進めていきます。
36	統合等については、保護者・地域住民の考えを尊重し、学校とも協力しながら、委員会としてリーダーシップを発揮して推進いただきたい。	反映済み（同じ意見）	子どもたちにとって望ましい教育環境について、今後も地域や保護者の方々にご意見をいただきながら、引き続き検討を進めていきます。

37	小規模であっても学校が地域のコミュニティの核となっている現状と、ある程度的人数で切磋琢磨し人間形成を図る必要性の両立は困難であるが、地域住民の声を真摯に受け止め、通学区域や時間をクリアし、統合により地域が広がってもコミュニティの性格が失われていない学校のイメージを大切に、モデルケースが生まれることを期待します。	反映済み（同じ意見）	子どもたちにとって望ましい教育環境について、今後も地域や保護者の方々にご意見をいただきながら、引き続き検討を進めていきます。
38	子どもたちの教育環境改善のために統合やむなし	反映済み（同じ意見）	子どもたちにとって望ましい教育環境について、今後も地域や保護者の方々にご意見をいただきながら、引き続き検討を進めていきます。
39	地域（現場）の意見や想いも受け止めながら、それでも子供の成長のために大事なことを優先させてほしいと思う。 また、廃校になってしまった校舎も、地域の活性化に役立つ形で生かすようにしてほしいと思う。（長野県で宿泊施設になっていた。）	反映済み（同じ意見）	子どもたちにとって望ましい教育環境や学校の跡地活用について、今後も地域や保護者の方々にご意見をいただきながら、引き続き検討を進めていきます。
40	適正規模とは何か。規模よりも子どもにとって良い教育環境かどうかが重要だと思う。子ども1人当たりに対する費用で考えてしまったら小さい学校がコスト高のようになってしまうが、小さい学校にはハンディキャップがあるのだから、子どもの負担が大きにならないようにすることが必要。統合で通学距離が遠くなれば子どもには負担になる。そういう地域では子育てがしにくくなり、若い人たちが他地域に流出し、地域の衰退につながる。教育だけの問題ではなくなる。既存の学校は原則維持の方向に戻してほしい。	反映しない（反対意見）	貴重なご意見ありがとうございます。 「子どもたち同士が切磋琢磨できる一定の学校規模の確保」を最優先とする方針のもと、子どもたちにとってより良い教育環境を第一に考えて取組を進めていきます。 統合等で生じる通学支援については、地域の実情を考慮しながら、必要に応じてスクールバス等の整備や遠距離通学に伴う補助を検討するなど、子どもの安全確保とともに保護者負担の軽減をしていきます。 また、「学校は地域のコミュニティの核」であることから、適正規模・適正配置の取組を進めるにあたっては、地域・保護者等から十分な理解を得られるよう、これからも丁寧な議論を行ってまいります。
41	子ども達も育った学校を懐かしく思い出す時が来るでしょう。そういう学校を残すのが行政の仕事だと思います。小人数だからこそ一人一人が活躍する機会が増えます。適正規模に当てはまらないとして小さな学校を統廃合する事には反対です。	反映しない（反対意見）	貴重なご意見ありがとうございます。 小規模校ならではの魅力ある教育も重要と考えておりますが、本改定方針においては、観点の1つ目「子どもたち同士が切磋琢磨できる一定の学校規模の確保」のため、適正規模・適正配置の取組についてご理解いただけるよう引き続き進めていきます。
42	学年1人となり、学校全体でも10人以下となることが予想され場合、統合も含め地域住民と時間をかけ合意形成を図る必要がある。	反映しない（反対意見）	貴重なご意見ありがとうございます。 小規模校ならではの魅力ある教育も重要と考えておりますが、本改定方針においては、観点の1つ目「子どもたち同士が切磋琢磨できる一定の学校規模の確保」のため、適正規模・適正配置の取組についてご理解いただけるよう引き続き進めてまいります。
43	中山間地の小規模校では、複式学級が増えており、こども園の状況から見ても、今後の増加は考えにくい。ある程度人数が減れば、保護者はよりよい環境で教育を受けさせたいと考え、私学等へ入学する例が増えてきている。保護者だけでなく、地域にも現状をわかっていただくとともに、小中学校だけでなく、こども園も視野に入れ適正規模・適正配置を考えていく必要があると思う。	反映しない（反対意見）	こども園については、少子化が急速に進んでいる中山間地域においては、地域の教育・保育の継続性を確保する意味でも、保育の受け皿としての役割は必要であると考えています。 子どもたちにとってよりよい教育環境のため、適正規模・適正配置に取り組むにあたっては、地域や保護者の理解を得られるよう丁寧な議論を進めるとともに、引き続き庁内連携を図ってまいります。
44	校舎の老朽化は待ったなし。きちんと予算をつけて順次更新して行ってほしい。これも教育だけの問題ではない。学校が地域住民の災害時の避難所になるのだから、統合して学校を減らすことは避難所を減らすことにもなる。災害時に真っ先に壊れる建物では意味がない。教育予算だけでなく、防災予算も充てて老朽化校舎を更新してほしい。	今後の参考（反映はしない）	貴重なご意見ありがとうございます。 本改定方針において、適正規模・適正配置に取り組む対象の学校の優先度を示しており、「老朽化などの学校安全の状況」を2つ目の観点としております。また、老朽化が進む適正規模校についても、引き続き改修や建て替え等の検討をしていきます。
45	学校の先生が足りない問題も深刻だと思う。統合して子どもをまとめれば先生が少なくてすむというような考えは捨てて、教員の待遇改善を進め、採用人数を増やし、余裕のある教育環境を整えるべきだ。統合で先生方に余裕が出来るとは思えない。	今後の参考（反映はしない）	貴重なご意見ありがとうございます。 学校統合は子どもたちの教育環境の向上を目的に取組を進めております。 教師不足においては、本市としても大きな課題と考えておりますので、今後の施策の参考とさせていただきます。
46	保護者や地域の意向調査がデータとして示されているが、なぜ大人から意見を聞いて子どもには聞かないのか？一番の当事者の声が全く反映されていないのは「子どもの権利条約」にも反するのではないか。	今後の参考（反映はしない）	貴重なご意見ありがとうございます。 今回の調査では、子どもたちに一番近い存在である保護者の方のご意見を丁寧に聞き取らせていただきましたが、今後の施策の参考とさせていただきます。

47	また、児童・生徒の減少に対してどうしたらいいかという設問では、たとえば学区の再編をして大規模校から小規模校へ移動させることで平準化する、または特認校制度の活用や山村留学で児童・生徒数を増やす、など他にも方法もあるはずなのに、そういう選択肢がない。統合するかそのまま小さくなっていくかの二択しか選択肢をもうけずに答えさせるのは、統合への誘導としか思えない。	今後の参考（反映はしない）	貴重なご意見ありがとうございます。 今回のパブリックコメントの質問や選択肢については、本改定方針の観点についてご意見いただくため、このような設問とさせていただきます。改定に伴う保護者等アンケート調査では「現在よりも多い学級数を望む場合の対応方法」についても様々なご意見をいただいておりますので、引き続き今後の施策の参考にさせていただきます。
48	検討委員の中に小規模校の教員や保護者が入っていないのはなぜか？大きな学校しか知らない人間に小規模校の良さはわからない。保護者や地域の意向調査についても、小規模校だけを対象にしなければ、人数の少ない小規模校の声は打ち消されてしまう。この検討会そのものが小規模校差別ではないのか。	今後の参考（反映はしない）	検討会委員については、大規模校・小規模校に偏ることがないよう、幅広く保護者代表や学校代表者をご推薦いただいております。また、保護者アンケートにおいては、学校規模別にも分析した結果、小規模な学校の保護者ほど、「隣接する学校との統合の検討」を考えていることがわかりました。 (本編 p 7) 頂いたご意見につきましては、次回改定時の検討組織体制について、参考とさせていただきます。
49	1月11日付の静岡新聞ではへき地・複式・小規模校の研究大会の様子が報じられていたが、ここでの研究成果を教育委員会はどのように受け止め活用しようとしているのか知りたい。	今後の参考（反映はしない）	貴重なご意見ありがとうございます。 当該研究大会の様子について、改めて教育委員会内にて共有させていただき、今後の施策の参考とさせていただきます。
50	学校には地域のコミュニティの中核としての役割もある。そのため、学校の統廃合について、地域の意向をくみながら、適正規模やスクールバスなど遠距離通学になる児童生徒への配慮等を地域に十分に説明し、理解いただいた上で進めていただけることをありがたく感じる。その一方で、校舎の老朽化も深刻な問題である。適正規模校であっても老朽化が著しい校舎については、改修や建て替え等の検討をこれまで以上に早急に進めていただくことを期待している。	今後の参考（反映はしない）	貴重なご意見ありがとうございます。 子どもたちにとって望ましい教育環境について、今後も地域や保護者の方々にご意見をいただきながら、計画的に適正規模・適正配置に取り組んでまいります。 また、適正規模校の老朽化対策についても、今後の施策の参考とさせていただきます。
51	統合した場合の登下校方法を考えると保護者の負担になる場合がある。少人数で先生の人数を増やして丁寧に対応していけば先生の負担、保護者の負担も軽くなる気がする。何をもちの適正規模なのか。不登校、学力低下などの問題に向き合っていく時、今の適正規模を考え、子どもたちにとって何がいいのかを考えてほしい。	今後の参考（反映はしない）	貴重なご意見ありがとうございます。 統合等で生じる通学支援については、地域の実情を考慮しながら、必要に応じてスクールバス等の整備や遠距離通学に伴う補助を検討するなど、子どもの安全確保とともに保護者負担の軽減をしていきます。 本市では国に先駆けて35人学級編制を実施しておりますが、いただいた意見につきましては、今後の本市全体の教育施策の参考とさせていただきます。
52	私の子どもが公立小学校（1年）に通っており、「学校が楽しい。」「先生、大好き。」「給食よくおかわりをするよ。」と毎日楽しく学校に通っている姿をみて、親としても嬉しく感謝しております。ただ、今回の改定方針案を拝見し、思うことがあり2点意見をさせていただきます。 (1) 1学級あたりの人数については現状35人となっておりますが、多いように感じるため見直しが必要だと考えます。ひと昔前は、画一的な教育方針をとっていたのに対し、今は集団生活に重きをおきながらも「個」を伸ばしていくことが、将来においても大事なことです。計画においても、P15にあるような「質の高い教育環境」を整備するには、担任1人で最大数の35人をみるのは限界があるのではないのでしょうか。子どもの「個」を伸ばすためには、しっかりその子自身を見て、理解し、教員との信頼関係を築いていくことだと思うので、1学級あたりの人数については見直しをしてほしいです。	今後の参考（反映はしない）	貴重なご意見ありがとうございます。 本市では国に先駆けて「静岡市型35人学級の完全実施」を行っておりますが、改定に伴い実施した保護者アンケートにおいても、「1学級あたりの人数の見直し」に対するご意見が多かったことから、今後の本市における教育施策の参考とさせていただきます。
53	統廃合を進ませ教職員の人数を増員してください	今後の参考（反映はしない）	貴重なご意見ありがとうございます。 学校統合については、子どもたちの教育環境の向上を目的として取組を進めております。教職員の増員については、今後の本市における教育施策の参考とさせていただきます。
54	24人を基準にできればよいと思います。ペア、3人グループ、4人グループと様々な形態でやりやすそうだからです。12人では多様な考えが生まれづらいと思います。また、36人では教室が狭そうです(特に5、6年生)し、先生は子ども1人当たり1分も個別指導ができないと思います(一斉の時間もあると思うので)。今よりも少し1学級当たりの人数が少なくなると思います。	今後の参考（反映はしない）	貴重なご意見ありがとうございます。 本市では国に先駆けて「静岡市型35人学級の完全実施」を行っておりますが、改定に伴い実施した保護者アンケートにおいても、「1学級あたりの人数の見直し」に対するご意見が多かったことから、今後の本市における教育施策の参考とさせていただきます。
55	近所では学区以外の小中学校に通っている子が多いです。全く交流がないです。今は選択肢が広がったので、統合せずに頑張って維持してもいつまで続くのかと思います。	今後の参考（反映はしない）	貴重なご意見ありがとうございます。 子どもたちにとって望ましい教育環境について、今後も地域や保護者の方々にご意見をいただきながら引き続き検討を進めていきます。

56	<p>市内小中学校の「適正規模・適正配置」についての意見募集ですが 教育施設・環境を考えるにあたり、教育内容や方法、他の大きな課題ともセットで大きな構想があることだと説明してほしいと願います。</p> <p>勿論、実施に当たっては地域と意見交換していくとは思いますが、適正規模・適正配置による学校の再編成や新設時に、市として「特色ある教育」を前面に打ち出してもいいのではないのでしょうか。</p> <p>令和4年度に完全実施した静岡市の小中一貫教育を進めるにあたり、コミュニティスクールの考え方を同時に進めなかったことには違和感がありました。今回のものは、教育環境という観点から子どもファーストの考えを大切にしています。これは、静岡市でも課題となっている子育てや人口問題とも大きく連動させて構想していることでしょう。その他にも不登校の子供を救済していくことも一緒に考えることもできるのではないのでしょうか。こうした大きな流れの中の一つに学校適正規模・適正配置という施策があるという説明は市民に理解しやすくなるのではないのでしょうか。</p>	今後の参考（反映はしない）	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>今回の改定に伴い、「子どもたちにとって望ましい教育環境」について保護者等にアンケートを実施するなど、本市の教育環境をより良くするため、様々なご意見をいただきました。</p> <p>本改定方針においても、子どもたちの教育環境の向上を目的として、「子どもたち同士が切磋琢磨できる一定の学校規模の確保」のために適正規模・適正配置の取組を進めておりますので、地域や保護者を含めた市民の方々に十分ご理解いただけるよう周知を行ってまいります。</p>
57	<p>適正規模、適正配置を考える際に、特別支援学級の在り方も同時に考慮していただけたらと思います。</p> <p>ただでさえ、全学校に知的級・情緒級が両方あるわけではなく、地区外に通わざるを得ない家庭もある中で、統合した学校の特別支援学級が枠が少ない・情緒級が無い等といった状況になると、大変な思いをする家庭があるのではないかと思います。</p> <p>また、適正配置という考えであれば、統廃合の有無にかかわらず、特別支援を希望した家庭が希望する進路を選択できるよう、特別支援学級の各学校への配置数について不足がないか常に考えていただければと思います。</p>	今後の参考（反映はしない）	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>特別支援学級のニーズが増加している状況を踏まえて、特別支援学級等を考慮して施設整備するよう、新しく学校が開校する際の検討すべき項目（p19）に記載しております。</p> <p>特別支援学級の在り方につきましては、今後の本市教育施策の参考とさせていただきます。</p>
58	<p>地域性が異なる学区の統合については、検討中も統合後も非常に苦労が多いかと推測される。懸念されるのは、災害発生時に学校が避難所となった際、本来であれば避難所は地域で運営されるべきだが、スクールバスで通うような遠距離の地域住民がどの程度関わっていくのか。そもそも、児童や生徒が自力で帰宅できない距離のため、しばらく学校で過ごすということが可能であるのか、ということ。学校を地域の核として考えると、こういった課題も出てくるかと思うので、保護者や地域住民との対話が重要になる。</p>	今後の参考（反映はしない）	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>子どもたちにとって望ましい教育環境について、今後も地域や保護者の方々にご意見をいただきながら、統合における学校の防災拠点としての機能の保持等について、引き続き検討を進めていきます。</p>
59	<p>生徒数減少による学区の早急な見直しをおこなってほしい。</p>	今後の参考（反映はしない）	<p>子どもたちにとって望ましい教育環境について、今後も地域や保護者の方々にご意見をいただきながら、通学区域の見直しについては通学区域審議会での議論を踏まえて、教育委員会としても引き続き検討を進めていきます。</p>
60	<p>将来を担う子どもたちは、社会全体の最も重要な資産であるため、学校設備や教育環境への十分な予算と整備、配慮が必要と考えます。1学級の適正な人数というのがどれくらいなのか、子どもたちにとってどういった教育環境が望ましいのか、教諭(や保護者たち)の意見を十分に反映すべきだと思います。</p>	今後の参考（反映はしない）	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>本市では国に先駆けて「静岡市型35人学級の完全実施」を行っておりますが、改定に伴い実施した保護者アンケートにおいても、「1学級あたりの人数の見直し」に対するご意見が多かったことから、今後の本市における教育施策の参考とさせていただきます。</p>
61	<p>子どもたちの学ぶ場として、今の学校の老朽化がとても気になります。</p> <p>特にトイレなど、気持ち良くまた清潔に使える場所になると良いと思います。</p> <p>統合した時には、学区が広がることで通うことが大変になる家庭には柔軟に対応できるよう考えて欲しいです。</p>	今後の参考（反映はしない）	<p>貴重なご意見いただきありがとうございます。</p> <p>学校施設については、引き続き老朽化対策やトイレリフレッシュ事業など進めていきます。また、統合等で生じる通学支援については、地域の実情を考慮しながら、必要に応じてスクールバス等の整備や遠距離通学に伴う補助を検討するなど、子どもの安全確保とともに保護者負担の軽減をしていきます。</p>
62	<p>児童生徒数が減少しており、一定の学校規模を確保するためには、統廃合は致し方ないと思う。</p> <p>しかしながら、子供は、将来の静岡市を担い、子供の数は、将来の静岡市の人口数に直結する。</p> <p>静岡市は人口70万人を切っけてしまい、市では移住政策などで人口減少を食い止め、増加に転ずることが出来るように、努力しているところである。</p> <p>児童生徒数が減少するに合わせ、学校を統廃合すれば、市として子供を受け入れ可能な数が少なくなってしまい、目標の人口維持、人口増加を目指している市の政策と逆行するようになる。また、市内で子育てを考えている市民や市外から移住を検討している人たちに、マイナスの影響が出る恐れがある。</p> <p>統廃合で学校をつぶすこと以上に、新たに学校を増やすことは難しいので、安易に統廃合をするわけではなく、20年後、30年後に何人くらいの児童生徒数を維持するのかを見据える必要があり、（人口〇〇万人を維持するには、そのうち子供の人口が何人維持する必要があるかを考える必要がある。）</p> <p>その目標児童生徒数を大幅に達成したとしても、子供たちを受け入れることが可能な学校数は維持する必要がある。</p> <p>削減削減だけでは、人口減少、経済規模縮小、財政難といった市の衰退の負のスパイラルを止められない。これ以上は譲れない！！という線引きをしっかりと見据えて、学校の適正規模、適正配置を行うべき。</p>	今後の参考（反映はしない）	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>子どもたち同士が切磋琢磨できる一定規模の確保を最優先の観点とし、今後の児童生徒数の推計等も見据えながら適正規模・適正配置を進めていきます。</p> <p>また本市全体の課題意識を持ち、子どもたちにとってより良い環境の確保のため、引き続き庁内連携を図っていきます。</p>

63	学校の統合のことになるかわからないが、小中一貫をすすめていくうえで、中学からの学区も、なるべく同じ小学校のまま進学できるように、学区の編成や自由な選択もできるようにしていただけるといいなと思う。	今後の参考（反映はしない）	子どもたちにとって望ましい教育環境について、今後も地域や保護者の方々にご意見をいただきながら、通学区域の見直しについては、通学区域審議会での議論を踏まえて、教育委員会としても引き続き検討を進めていきます。
64	令和4年度に静岡型小中一貫教育がスタートし、9年間の連続性、系統性を強化した教育課程を編成実施しているが、どう考えても施設一体型での小中一貫教育のほうが、より効果的に実施できると考えられる。適正規模・適正配置方針の一定の学校規模の確保、学校施設の老朽化対策、学校コミュニティの核としての性格への配慮については理解できるが、取り組みの進め方、対象となる学校の優先度については、今後の静岡市の都市計画と大きくリンクさせて考えていく必要があると思われる。静岡市の発展、人口の増加のためにどのような街づくりをしたら良いのか、小中学校の学区の再編、それに伴っての自治会の再編まで視野に入れて具体的な計画を推し進めていかないといつまで経っても計画のままそれ以上進まないのではないかと。また、優先度は、山間部の過小規模の学校からとあるが、市街地もモデル地区を決め、進めていかないと再編への意識が高まっていかないと。そこで、現在地域住民から要望書がすでに出ている安倍川地区について市街地のモデルとして優先的に統合を推し進め施設一体校にし、その良さを広めることで他の地域への理解を進めていけば統合へ向けて積極的に動く地域が増えていくのではないかと考える。「学校づくりは街づくり」の意識を持って期限を切って早期に推進していただきたい。	今後の参考（反映はしない）	貴重なご意見ありがとうございます。 今回の改定において、「対象となる学校の優先度」で示した1つ目の観点に「一定の学校規模の確保」として、山間地のみに限らず複式学級を有する「過小規模校」を最優先としております。加えて、学校施設の老朽化や地域・保護者等の合意状況を踏まえて、本市として適正規模・適正配置の取り組んでいく必要があると考えております。 なお、山間地や市街地の小規模校においても、本改定方針の「対象となる学校の優先度」に沿って引き続き取組を進めていきますので、今後の施策の参考とさせていただきます。
65	⑥「6.(3)②地域とともにある学校づくり（通学区域の見直しなど）」➡「学区の在り方の見直しを進めていくことにします。」とあるが、「いつ」なのか起源的なものを示してほしい。そうでないと、また文中の意気込みだけに終わってしまうと思う。	今後の参考（反映はしない）	貴重なご意見ありがとうございます。 学校は「地域コミュニティの核としての性格」を有していることから、通学区域の見直しについては、通学区域審議会を通じて議論を踏まえて、教育委員会としても引き続き検討を進めていきます。 ご意見については、今後の参考とさせていただきます。
66	⑦「●開校にあたり検討すべき項目例(p19)」に「通学区の再編整備」や「自治会組織の再編」などに触れてほしい。安倍川中学区の「がくまち座談会」を4回開催したが、この意見が必ず話題に出ている。	今後の参考（反映はしない）	貴重なご意見ありがとうございます。 学校は「地域コミュニティの核としての性格」を有していることから、地域とともに丁寧な議論をしていく必要があると考えております。 通学区域の見直しについても、通学区域審議会を通じて議論を踏まえて、教育委員会としても引き続き検討を進めていきます。 ご意見については、今後の参考とさせていただきます。今後の施策の参考とさせていただきます。
67	⑧この案が策定される前に、特に学校現場にも周知し意見をもらう。ここに達するまでに保護者や地域ばかり意識して意見を吸い上げていないか。検討委員に2校長が含まれているが、学校教育全体の意見を集約しきれてないとする。地域・保護者の意見は大切だが、教育現場のプロの多くの意見がもっと尊重されても良いとする。	今後の参考（反映はしない）	貴重なご意見ありがとうございます。 学校現場の意見については、検討会委員の学校代表においては校長会からの推薦いただいており、またパブリックコメントの際に各小・中学校へ周知した上でご意見をいただいております。
68	駒形、田町地区では、安倍川中学との小中一体型施設について進めていこうと熱い議論を交わしています。	その他意見、感想	貴重なご意見ありがとうございます。
69	(2)平成13年に起きた大阪府池田小学校の事件以後、静岡市ではどのような対策がされ、今現在は、不審者の侵入を防げるような対策がとられているのか、少し疑問を感じます。(出入りする者の見た目に不自然さがなければ、校内に入っていくことが簡単であるように感じます。)あのような酷い事件が静岡市でも起きないよう、老朽化だけでなく防犯の観点からも内外装改修を行う等のアセットマネジメントをしていただきたいです。	その他意見、感想	貴重なご意見ありがとうございます。 学校施設の整備において、老朽化だけでなく防犯対策を踏まえて進めるなど、今後の施策の参考とさせていただきます。
70	非常に分かりやすく、読みやすかったです。	その他意見、感想	ご意見ありがとうございます。
71	自分の子供と自分が同じ小学校、中学校なので統合という形でなくなるのはとても残念な気持ちになるが老朽化がすぐトイレなど衛生面でもっとよくしてあげてほしい方が勝っている。発育も自分達より早く中学で着替える場所もないっていうのはどうかとおもう。 ランドセルもはじめから重いのにさらに教科書で重たくなり、姿勢も前のめりになりかわいそう。 中学生も肩にあざができてしまうくらい重たい教科書を背負って部活の道具ももっていく。 どうにかならないかとおもう。	その他意見、感想	貴重なご意見いただきありがとうございます。 学校施設については、引き続き老朽化対策やトイレリフレッシュ事業など進めていきます。また、着替えの場所や教科書の持ち帰りなど子どもたちへの心身の配慮については、教育委員会から各学校に対して通知等しているところですが、引き続き今後の教育施策の参考とさせていただきます。
72	クラス制度、担任制度、宿題をやめ。授業の形もやめた方がよい。工藤勇一さんの教育方法が良いと思う。	その他意見、感想	貴重なご意見ありがとうございます。 今後の本市の教育施策の参考とさせていただきます。